



## 2024年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月10日

上場会社名 日本ファイルコン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5942 URL https://www.filcon.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名倉 宏之  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理・経営 (氏名) 齋藤 芳治 (TEL) 042-377-5711  
 定時株主総会開催予定日 2025年2月26日 配当支払開始予定日 2025年2月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年2月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年11月期の連結業績 (2023年12月1日～2024年11月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期	28,639	2.3	924	46.4	1,130	10.9	622	△51.0
2023年11月期	27,986	7.8	631	△40.4	1,019	△39.5	1,270	17.9

(注) 包括利益 2024年11月期 942百万円(△34.8%) 2023年11月期 1,444百万円(0.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年11月期	31.65	—	2.7	2.6	3.2
2023年11月期	62.56	—	5.6	2.4	2.3

(参考) 持分法投資損益 2024年11月期 211百万円 2023年11月期 215百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期	43,219	23,259	52.8	1,158.21
2023年11月期	42,823	23,156	53.1	1,140.26

(参考) 自己資本 2024年11月期 22,824百万円 2023年11月期 22,759百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年11月期	1,971	△1,013	△579	4,822
2023年11月期	1,785	△513	△1,639	4,375

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年11月期	—	8.00	—	19.00	27.00	551	43.2	2.5
2024年11月期	—	13.00	—	15.00	28.00	559	88.5	2.4
2025年11月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00		100.1	

## 3. 2025年11月期の連結業績予想 (2024年12月1日～2025年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	28,000	△2.2	600	△35.1	850	△24.8	550	△11.7	27.96

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年11月期	22,167,211株	2023年11月期	22,167,211株
② 期末自己株式数	2024年11月期	2,460,195株	2023年11月期	2,207,031株
③ 期中平均株式数	2024年11月期	19,672,181株	2023年11月期	20,307,749株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式 (2024年11月期272,800株、2023年11月期454,700株) を含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年11月期の個別業績 (2023年12月1日~2024年11月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期	11,926	6.4	△0	—	603	14.7	469	△48.9
2023年11月期	11,212	0.2	△32	—	526	△54.3	918	1.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期	23.87	—
2023年11月期	45.25	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期	25,597	14,494	56.6	735.49
2023年11月期	25,670	15,184	59.2	760.74

(参考) 自己資本 2024年11月期 14,494百万円 2023年11月期 15,184百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
(開示の省略) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、物価の上昇が続いておりますが、個人消費や設備投資は徐々に持ち直し始めている状況となっております。海外経済は金融引締め等を背景として景気が下振れしており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下、当社グループの当連結会計年度における業績は、売上高は28,639百万円（前期比2.3%増）、営業利益は924百万円（前期比46.4%増）、経常利益は1,130百万円（前期比10.9%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を計上したものの、前期も投資有価証券売却益や退職給付信託返還益、固定資産売却益を計上していた影響により622百万円（前期比51.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の分野で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他産業用フィルター・コンベア分野	「ふるい分け」・「ろ過」・「搬送」用の工業用金網の製造・販売

製紙製品分野では、国内の紙の需要は伸び悩み、海外においても特に欧州での景気後退による需要減少の状況は継続しております。このような状況下ではありますが、円安の影響もあり売上高は国内海外ともに前期と比べ増加いたしました。

その他産業用フィルター・コンベア分野では、食品業界向けコンベアベルトが増加したことにより売上高は前期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は20,088百万円（前期比8.6%増）、営業利益は1,134百万円（前期比47.6%増）となりました。

#### ②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の分野で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体・ディスプレイ・プリント基板・MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターニングの原版となるフォトマスクの製造・販売

電子部品業界は、自動車向けやスマートフォン、PC、タブレットなどの市場がプラス成長を継続しております。

そのような状況下、当社グループでは通信デバイス業界や自動車業界の得意先の試作品・開発品の需要をとらえることができおり、エッチング加工製品分野およびフォトマスク製品分野の売上高は前期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は4,365百万円（前期比4.9%増）、営業利益は499百万円（前期比35.1%増）となりました。

#### ③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は、プール並びにろ過装置の設計・販売、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売などを行っております。

当連結会計年度における当セグメントの外部顧客への売上高は3,153百万円（前期比26.5%減）となりました。また、前期より継続していた複数の大型案件は工事が完成いたしました。資材や工事費高騰の影響を非常に大きく受け、営業損失は62百万円（前期営業利益26百万円）となりました。

#### ④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗・マンション・駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,032百万円（前期比0.2%減）、営業利益は780百万円（前期比0.9%減）となりました。

(注)各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異1,427百万円(前期比8.0%増)は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

### (2) 当期の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べ279百万円増加し、21,441百万円となりました。これは主として原材料及び貯蔵品が159百万円、仕掛品が133百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が448百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が272百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ116百万円増加し、21,778百万円となりました。これは主として、投資有価証券が695百万円、建物及び構築物が177百万円それぞれ減少した一方で、機械装置及び運搬具が588百万円、退職給付に係る資産が379百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ396百万円増加し、43,219百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ338百万円増加し、14,024百万円となりました。これは主として、未払法人税等が202百万円、支払手形及び買掛金が158百万円それぞれ減少した一方で、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、5,936百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が39百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ293百万円増加し、19,960百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ103百万円増加し、23,259百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が370百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が440百万円、退職給付に係る調整累計額が161百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ447百万円増加し、4,822百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益1,123百万円、減価償却費1,685百万円などにより、1,971百万円の収入(前連結会計年度に比べ186百万円の収入増)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入680百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出1,653百万円などにより1,013百万円の支出(前連結会計年度に比べ500百万円の支出増)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,800百万円、短期借入金の純増額670百万円などがあった一方、長期借入金の返済による支出1,995百万円などにより、579百万円の支出(前連結会計年度に比べ1,060百万円の支出減)となりました。

#### (4) 今後の見通し

次期連結会計年度の業績につきましては、環境・水処理関連事業において大型案件の売上計上を見込んでいないことから、当連結会計年度と比べ減収となる見通しであります。営業利益は、電子部材・フォトリソマスク事業のフォトリソマスク製品分野における大型の設備投資の結果、減価償却費負担が重くなるため、当連結会計年度と比べ減益となる見通しであります。

結果として、連結売上高28,000百万円、営業利益600百万円、経常利益850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,447,461	4,895,842
受取手形、売掛金及び契約資産	8,593,519	8,865,983
商品及び製品	4,073,999	3,975,102
仕掛品	1,408,191	1,274,410
原材料及び貯蔵品	1,990,165	1,830,352
その他	724,615	679,007
貸倒引当金	△76,431	△79,431
流動資産合計	21,161,521	21,441,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,869,983	5,692,884
機械装置及び運搬具（純額）	2,928,473	3,517,063
工具、器具及び備品（純額）	544,908	531,410
土地	4,308,983	4,347,020
建設仮勘定	659,894	759,681
有形固定資産合計	14,312,243	14,848,061
無形固定資産		
のれん	298,182	228,990
その他	287,872	275,744
無形固定資産合計	586,054	504,734
投資その他の資産		
投資有価証券	3,561,532	2,866,104
退職給付に係る資産	2,167,148	2,546,785
繰延税金資産	182,407	194,188
リース投資資産	381,517	360,995
その他	475,374	460,533
貸倒引当金	△4,551	△3,034
投資その他の資産合計	6,763,429	6,425,573
固定資産合計	21,661,727	21,778,369
資産合計	42,823,249	43,219,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,024,419	3,866,179
短期借入金	5,186,946	5,862,929
1年内返済予定の長期借入金	1,768,004	1,638,049
未払法人税等	373,146	170,180
賞与引当金	48,365	36,582
環境対策引当金	11,960	4,020
工事損失引当金	17,798	2,510
その他	2,255,348	2,443,586
流動負債合計	13,685,988	14,024,036
固定負債		
長期借入金	3,563,159	3,529,505
繰延税金負債	691,212	651,253
退職給付に係る負債	211,366	220,079
長期預り敷金保証金	994,389	969,389
資産除去債務	88,269	89,342
その他	432,779	476,687
固定負債合計	5,981,176	5,936,257
負債合計	19,667,164	19,960,294
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,914,729
利益剰余金	16,475,649	16,450,722
自己株式	△1,090,892	△1,235,349
株主資本合計	19,982,662	19,815,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693,674	323,549
為替換算調整勘定	1,791,648	2,232,312
退職給付に係る調整累計額	291,876	453,252
その他の包括利益累計額合計	2,777,198	3,009,114
非支配株主持分	396,223	434,542
純資産合計	23,156,084	23,259,341
負債純資産合計	42,823,249	43,219,636



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
売上高	27,986,324	28,639,102
売上原価	18,649,302	18,780,708
売上総利益	9,337,021	9,858,394
販売費及び一般管理費	8,705,296	8,933,452
営業利益	631,725	924,941
営業外収益		
受取利息	15,176	12,616
受取配当金	79,217	37,568
持分法による投資利益	215,462	211,521
その他	311,056	205,657
営業外収益合計	620,913	467,363
営業外費用		
支払利息	102,879	112,972
売電費用	27,186	36,395
その他	103,476	112,473
営業外費用合計	233,542	261,841
経常利益	1,019,096	1,130,463
特別利益		
固定資産売却益	245,147	—
投資有価証券売却益	758,464	515,194
退職給付信託返還益	273,988	—
特別利益合計	1,277,600	515,194
特別損失		
減損損失	389,201	522,213
特別損失合計	389,201	522,213
税金等調整前当期純利益	1,907,495	1,123,444
法人税、住民税及び事業税	541,043	381,540
法人税等調整額	7,977	32,196
法人税等合計	549,021	413,736
当期純利益	1,358,474	709,707
非支配株主に帰属する当期純利益	88,072	87,013
親会社株主に帰属する当期純利益	1,270,401	622,693

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
当期純利益	1,358,474	709,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188,332	△370,124
為替換算調整勘定	440,263	470,194
退職給付に係る調整額	△176,488	161,376
持分法適用会社に対する持分相当額	10,860	△28,593
その他の包括利益合計	86,302	232,852
包括利益	1,444,776	942,560
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,370,154	854,609
非支配株主に係る包括利益	74,622	87,950

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,685,582	1,912,324	15,661,645	△620,814	19,638,737
当期変動額					
剰余金の配当			△373,821		△373,821
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,270,401		1,270,401
自己株式の取得				△559,241	△559,241
自己株式の処分			△2,929	89,163	86,233
連結子会社株式の追加 取得による持分の増減			△79,647		△79,647
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	814,003	△470,078	343,924
当期末残高	2,685,582	1,912,324	16,475,649	△1,090,892	19,982,662

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	882,007	1,327,073	468,364	2,677,445	407,733	22,723,916
当期変動額						
剰余金の配当						△373,821
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,270,401
自己株式の取得						△559,241
自己株式の処分						86,233
連結子会社株式の追加 取得による持分の増減						△79,647
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△188,332	464,574	△176,488	99,753	△11,510	88,242
当期変動額合計	△188,332	464,574	△176,488	99,753	△11,510	432,167
当期末残高	693,674	1,791,648	291,876	2,777,198	396,223	23,156,084

当連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,685,582	1,912,324	16,475,649	△1,090,892	19,982,662
当期変動額					
剰余金の配当			△647,620		△647,620
親会社株主に帰属する 当期純利益			622,693		622,693
自己株式の取得				△262,912	△262,912
自己株式の処分		2,405		118,455	120,860
連結子会社株式の追加 取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2,405	△24,926	△144,456	△166,978
当期末残高	2,685,582	1,914,729	16,450,722	△1,235,349	19,815,684

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	693,674	1,791,648	291,876	2,777,198	396,223	23,156,084
当期変動額						
剰余金の配当						△647,620
親会社株主に帰属する 当期純利益						622,693
自己株式の取得						△262,912
自己株式の処分						120,860
連結子会社株式の追加 取得による持分の増減						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△370,124	440,663	161,376	231,915	38,319	270,235
当期変動額合計	△370,124	440,663	161,376	231,915	38,319	103,257
当期末残高	323,549	2,232,312	453,252	3,009,114	434,542	23,259,341

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,907,495	1,123,444
減価償却費	1,544,829	1,685,394
のれん償却額	68,160	67,408
減損損失	389,201	522,213
株式報酬費用	29,163	33,785
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,503	△18,604
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28,831	△340
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△102,640	△7,940
受取利息及び受取配当金	△94,394	△50,184
支払利息	102,879	112,972
投資有価証券売却損益 (△は益)	△758,464	△515,194
持分法による投資損益 (△は益)	△215,462	△211,521
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△442,868	△226,205
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△225,836	543,643
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	997,890	△129,027
仕入債務の増減額 (△は減少)	△225,375	△540,169
未払消費税等の増減額 (△は減少)	90,264	85,974
その他	△1,066,165	△16,490
小計	2,041,012	2,459,157
利息及び配当金の受取額	289,787	244,497
利息の支払額	△100,322	△122,855
法人税等の支払額	△474,042	△633,861
法人税等の還付額	28,593	24,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,785,027	1,971,752
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,225,241	△1,653,644
無形固定資産の取得による支出	△77,228	△64,001
投資有価証券の売却による収入	1,167,384	680,067
長期預り敷金保証金の返還による支出	△25,919	△25,299
その他	647,617	49,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△513,387	△1,013,695
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,420,146	670,230
長期借入れによる収入	1,750,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△868,687	△1,995,227
自己株式の取得による支出	△559,241	△262,912
自己株式の売却による収入	55,211	97,413
配当金の支払額	△373,821	△647,620
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△142,207	△123,084
その他	△80,357	△117,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,639,249	△579,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	78,951	68,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,657	447,147
現金及び現金同等物の期首残高	4,664,133	4,375,475
現金及び現金同等物の期末残高	4,375,475	4,822,622

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

減損損失の内訳

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上いたしました。

用途	種類	場所	減損損失 (千円)
エッチング 製造設備	建物及び構築物	東京都 稲城市	37,704
	機械装置及び運搬具		202,113
	工具、器具及び備品		51,862
	建設仮勘定		230,422
遊休資産	土地	山梨県 山中湖村	111
計			522,213

当社グループは、主に事業を基準に資産のグルーピングを実施しております。また賃貸用の不動産および事業の用に供していない遊休資産については個々の案件単位でグルーピングを行っております。

エッチング製造設備は、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該資産の回収可能価額は、零として評価しております。

遊休資産は、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービス別にカンパニー、子会社を置いております。カンパニーおよび子会社は、それぞれが取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、これらのカンパニーおよび子会社から構成されていますが、これらを事業セグメントと認識したうえで、このうち経済的特徴、製品の製造方法または製造過程、製品を販売する市場または顧客の種類等において類似性が認められるものについて集約基準および量的基準に基づいて集約を行い「産業用機能フィルター・コンベア事業」、「電子部材・フォトマスク事業」、「環境・水処理関連事業」、「不動産賃貸事業」という4つの集約後の事業セグメントを報告セグメントとしております。

「産業用機能フィルター・コンベア事業」は紙・パルプ抄造用網、各種工業用特殊網等の生産・販売、「電子部材・フォトマスク事業」はエッチング加工製品、フォトマスク製品等の生産・販売、「環境・水処理関連事業」はプール本体および水処理装置、その他環境関連製品等の設計・販売、「不動産賃貸事業」は店舗賃貸・駐車場賃貸等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処 理関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	18,497,272	4,162,905	1,503,219	—	24,163,397	—	24,163,397
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	2,788,540	—	2,788,540	—	2,788,540
顧客との契約から生じ る収益	18,497,272	4,162,905	4,291,760	—	26,951,938	—	26,951,938
その他の収益(注4)	—	—	—	1,034,385	1,034,385	—	1,034,385
外部顧客への売上高	18,497,272	4,162,905	4,291,760	1,034,385	27,986,324	—	27,986,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	273	2,528	70	12,000	14,871	△14,871	—
計	18,497,545	4,165,433	4,291,830	1,046,385	28,001,195	△14,871	27,986,324
セグメント利益	769,010	369,918	26,821	787,315	1,953,065	△1,321,340	631,725
セグメント資産	26,715,805	4,753,492	2,346,178	3,306,251	37,121,726	5,701,522	42,823,249
その他の項目							
減価償却費	1,193,218	215,649	8,917	83,521	1,501,306	43,522	1,544,829
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,065,796	1,095,217	30,605	15,840	2,207,459	71,461	2,278,921

- (注) 1 セグメント利益の調整額△1,321,340千円は、内部取引にかかわる調整額△11,814千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,309,525千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。
- 2 セグメント資産の調整額5,701,522千円は、各セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、当社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- 3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

当連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処 理関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	20,088,115	4,365,082	1,664,923	—	26,118,121	—	26,118,121
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	1,488,322	—	1,488,322	—	1,488,322
顧客との契約から生じ る収益	20,088,115	4,365,082	3,153,246	—	27,606,443	—	27,606,443
その他の収益(注4)	—	—	—	1,032,658	1,032,658	—	1,032,658
外部顧客への売上高	20,088,115	4,365,082	3,153,246	1,032,658	28,639,102	—	28,639,102
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,404	11,403	12,000	26,807	△26,807	—
計	20,088,115	4,368,486	3,164,649	1,044,658	28,665,909	△26,807	28,639,102
セグメント利益 又は損失(△)	1,134,842	499,916	△62,936	780,617	2,352,439	△1,427,498	924,941
セグメント資産	27,897,374	5,217,940	1,399,574	3,270,993	37,785,882	5,433,753	43,219,636
その他の項目							
減価償却費	1,171,436	363,065	12,372	81,146	1,628,021	57,373	1,685,394
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	719,428	1,244,220	2,778	67,050	2,033,477	67,609	2,101,087

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,427,498千円は、内部取引にかかわる調整額△12,648千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,414,850千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。
- 2 セグメント資産の調整額5,433,753千円は、各セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、当社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
1株当たり純資産額	1,140.26円	1,158.21円
1株当たり当期純利益	62.56円	31.65円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
- 2 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の株式数については、従業員持株E S O P信託が所有する自己株式数(前連結会計年度末454,700株、当連結会計年度末272,800株)を控除し算定しております。
- 3 1株当たり当期純利益の算定に用いられた期中平均株式数については、従業員持株E S O P信託が所有する自己株式数(前連結会計年度194,985株、当連結会計年度364,577株)を控除し算定しております。

## 4 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
純資産の部の合計額(千円)	23,156,084	23,259,341
純資産の部の合計額から 控除する金額(千円) (うち非支配株主持分)	396,223 (396,223)	434,542 (434,542)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	22,759,861	22,824,799
期末の普通株式の数(株)	19,960,180	19,707,016

## 5 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,270,401	622,693
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,270,401	622,693
普通株式の期中平均株式数(株)	20,307,749	19,672,181

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## (開示の省略)

上記以外の注記事項及び個別財務諸表につきましては、決算短信における開示の必要性が高くないと考えられるため開示を省略しております。